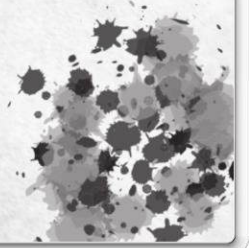




# 手塚治虫

～日本アニメの先駆者～



## 時代背景

彼が生きた時代は、19世紀前半～後半。戦後、高度経済成長期を迎えた日本で、テレビ放送の需要が高まったタイミングに合わせたかのように、彼の制作したアニメが日本中を虜にしていく。当時は、ディズニー映画のような長い時間をかけて制作する長編作品は世界で放映されていたが、毎週放送される30分枠のアニメ作品は存在しなかった。毎週作品を作り続けることは技術的に難しかったためである。そんな中、彼は独自の方法で映像制作を実現し、日本で初めての30分枠アニメを完成させた。これが後世にも引き継がれ、日本が世界一のアニメ生産国となったのである。

まさに日本アニメ、日本漫画の先駆者ともいえる彼が、どのような人生を送り、アニメや漫画の文化が現代にどのような影響を与えているかについて、紹介していく。



## 偉人の生涯



**手塚 治虫** 1928～1989 漫画家・アニメ制作者・医師

主な作品 『<sup>1</sup>』、『<sup>2</sup>』、『ジャングル大帝』、『リボンの騎士』、『火の鳥』

西 暦	年齢	生 涯
1928	0	大阪府に生まれる。本名は手塚治。当時の元号であった明治時代からとった。
1933	5	一家で兵庫県(現：宝塚市)へ転居。宝塚歌劇場をはじめとする様々な行楽施設が集まる地域であり、後の手塚作品に大きな影響を及ぼしたと言われる。
1946	18	知人の依頼を受けて『マアチャンの日記帳』という4コマ漫画を連載(彼のデビュー作品)
1950	22	『ジャングル大帝』の連載開始
1951	23	『 <sup>1</sup> 』の前身となる『アトム大使』の連載開始
1952	24	医師国家試験に合格するが、漫画家との両立が難しく医師の道を断念
〃	〃	東京へ移住し <sup>3</sup> [ ]へ入居 ← 後に有名となる漫画家が多く暮らしていた
1962	34	『鉄腕アトム』が30分枠のアニメ作品として制作される → 日本初の30分枠アニメ
1973	45	『ブラック・ジャック』連載開始
1989	60	死去 昏睡状態になっても、起き上がっては「鉛筆をくれ」と言ったという。 最期の言葉は「頼むから、仕事をさせてくれ」だったそうだ。

## ★伝説のアパート 「トキワ荘」 とは…？

東京の豊島区にあるトキワ荘。木造・風呂無し・共同トイレの何の変哲もないアパートに、天才漫画家たちがくらしていた。しかも、奇跡的に同時期に集まったということが凄いところ。最初に入居した手塚治虫は「漫画の神様がすんでいたのでは」とこのアパートを振り返っている。どんな人が集まっていたのだろうか…？

入居者	入居時期	代表作
手塚治虫	1953-1954	『ブラック・ジャック』・『鉄腕アトム』・『ジャングル大帝』・『リボンの騎士』
藤子・F・不二雄	1954-1961	『 <sup>4</sup> 』・『 <sup>5</sup> 』・『パーマン』・『キテレツ大百科』
藤子不二雄 A	〃	『忍者ハットリくん』・『怪物くん』・『笑ゥせえるすまん』・『プロゴルファー猿』
石ノ森章太郎	1956-1961	『 <sup>6</sup> 009』・『 <sup>7</sup> 』
赤塚不二夫	1956-1961	『 <sup>8</sup> 』・『おそ松くん』・『ひみつのアッコちゃん』

1982年に解体されたものの、「豊島区立トキワ荘マンガミュージアム」として生まれ変わり、漫画家の聖地となっている。

## 偉人の功績・思想

★『鉄腕アトム』の凄さ 21世紀の未来を舞台に、原子力をエネルギー源とする人の感情をもった少年ロボット「アトム」が活躍する物語。アメリカでは『ASTROBOY』として全米でも放映されており、日本での公開後半年という異例のスピードであった。日本でも初めての30分アニメ作品で話題となり、『鉄腕アトム』が成功したからこそ後のアニメ作品が生まれたと言っても過言ではない。歴代視聴率のランキングからも、そのすごさは一目瞭然。(参照：図1) この作品を皮切りに、日本のテレビアニメが海外で評価されるようになる。『ASTROBOY』を見て育った世代がアニメ会社に勤めるようになると、日本の作品輸出は益々拡大していった。90年代には『<sup>9</sup>』や『<sup>10</sup>』が流行し、海外における日本アニメ市場は急成長を遂げている。サブスクやネットの影響で、多言語配信が実施されており、国内と海外の売上が同等となるほどである。

図1 歴代アニメ視聴率ランキング(日本国内)

	作品名	放映年	視聴率
1		1964	
2		1990	39.9%
3		1979	39.4%
4	Dr.スランプ アラレちゃん	1981	36.9%

図2 日本マンガ 海外売上TOP10

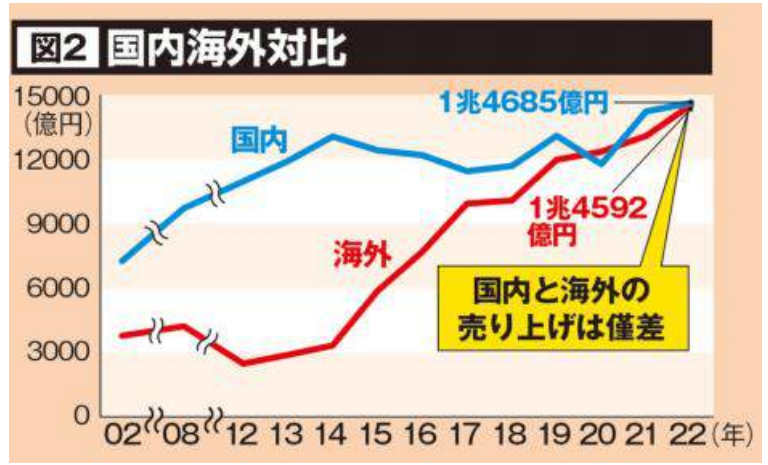
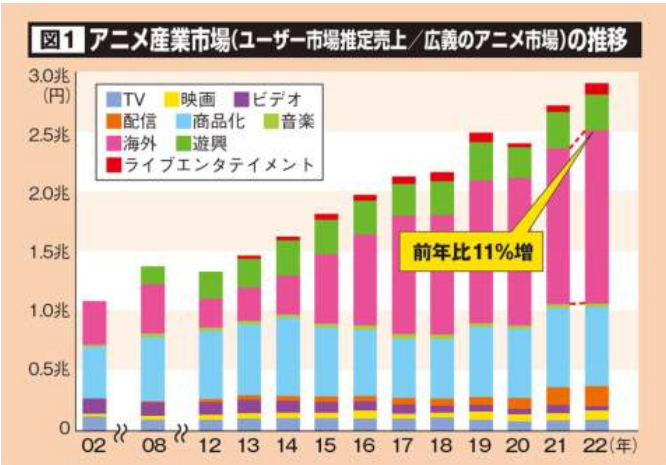
	作品名		作品名
1	<small>アニメ8位</small>	6	ワンパンマン
2	ベルセルク	7	僕のヒーローアカデミア
3	<small>アニメ1位</small>	8	<small>アニメ3位</small>
4	東京喰種	9	俺だけレベルアップな件
5	チェンソーマン	10	DEATHNOTE

図3 日本アニメ 海外人気 ※外国人を対象としたアンケート調査より算出

	作品名	特徴
1		アジア圏を始め、ドイツ・フランスなどの欧州圏でも大人気。
2		新作映画で全米デイリーランキング1位を獲得。
3		忍者大好きな外国人に刺さる。アニメ放送は80カ国以上。
4		ストーリーの難解さに加え、主題歌や映像なども高評価。
5		世界40カ国でアニメ放送。全世界の女の子が夢中になった作品。
6		初代は40年前の作品でありながら、アジア圏で絶大な人気。
7		アニメに加え、ゲームやトレカも人気。韓国・香港・台湾・米国でテレビシリーズ放送。

# ★世界に広がる日本アニメ ～クールジャパン構想～

今や日本は世界一のアニメ生産国となった。アメリカのアニメはヒーローが痛快に勝利するアクションものが多く、日本のような複雑なストーリー設定や緻密な描写が新鮮に映っているようだ。日本アニメ産業は世界で急成長しており、特に海外からの売上割合が増加傾向にある。(図1参照) 2020年以降は国内と海外の売上がほぼ同等になっている。(図2参照)



この状況を日本経済の発展に生かすべく、日本アニメや漫画の文化を全面的に売り出すことも考えられている。数年前から実施されている「クールジャパン構想」は、外国人が「COOL！」(かっこいい!)と捉える日本固有の魅力を、経済成長に繋げる戦略として掲げられ、アニメ・漫画やゲームの文化も一大コンテンツとして期待されている。

## Think 日本アニメはどんな国で展開されているか？

(問1) 日本アニメの国別海外展開状況をグラフにしたものである。空欄に入る上位国はどこか？



(問2) 日本に訪れる観光客はどんな国・地域からが多いでしょうか。(2023データ)

- |        |        |     |         |        |
|--------|--------|-----|---------|--------|
| 1位 [ ] | 696 万人 | 6位  | タイ      | 100 万人 |
| 2位 [ ] | 420 万人 | 7位  | フィリピン   | 62 万人  |
| 3位 [ ] | 243 万人 | 8位  | オーストラリア | 61 万人  |
| 4位 [ ] | 211 万人 | 9位  | シンガポール  | 59 万人  |
| 5位 [ ] | 205 万人 | 10位 | ベトナム    | 57 万人  |

アニメ・漫画業界の活躍が  
日本の観光・経済に  
影響を与えている！

## Watch 「鉄腕アトム」を実際に見てみよう

YouTube の手塚プロダクション公式チャンネルでは、1963 年の「鉄腕アトム」が一部閲覧できる。

(URL 参照 <https://www.youtube.com/watch?v=KGq6z1mEU9Q>)

当時のアニメ映像を実際に見て、気づくことや印象を書き出してみよう。

- 
- 
- 



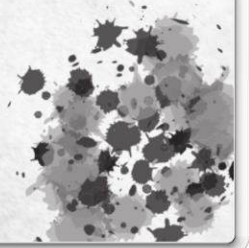
毎週 1 回 30 分の連続放映アニメは、国内はもちろん、世界初の試みだった。それまでの手法では、30 分のアニメを作るのは大変な作業だったので、毎週放映になるなんて信じられない世界だったそうだ。制作期間が長くとれないため、通常 1 万 5000～2 万枚の絵を必要とするところ、10 分の 1 の 1500～2000 枚に変更し、目や口などのパーツを変化させるだけで表情を作ったり、背景だけを動かすことでキャラクターが移動しているように見せたりする手法も編み出した。この手法をリミテッドアニメという。

「ストーリーがしっかりしていて、そこにセリフと音楽が付けば、それほど動かなくてもいい。それがテレビアニメだ。」というのが、彼の考えであった。東映動画のフルアニメーションに対し、極端に省力化された「鉄腕アトム」だったが、その後、同じ手法のテレビアニメが続々と制作され、現在でも日本アニメの手法の一つとして定着している。



# 手塚治虫

～日本アニメの先駆者～



## 時代背景

彼が生きた時代は、19世紀前半～後半。戦後、高度経済成長期を迎えた日本で、テレビ放送の需要が高まったタイミングに合わせたかのように、彼の制作したアニメが日本中を虜にしていく。当時は、ディズニー映画のような長い時間をかけて制作する長編作品は世界で放映されていたが、毎週放送される30分枠のアニメ作品は存在しなかった。毎週作品を作り続けることは技術的に難しかったためである。そんな中、彼は独自の方法で映像制作を実現し、日本で初めての30分枠アニメを完成させた。これが後世にも引き継がれ、日本が世界一のアニメ生産国となったのである。

まさに日本アニメ、日本漫画の先駆者ともいえる彼が、どのような人生を送り、アニメや漫画の文化が現代にどのような影響を与えているかについて、紹介していく。



## 偉人の生涯



**手塚 治虫** 1928～1989 漫画家・アニメ制作者・医師

主な作品 『<sup>1</sup>鉄腕アトム』、『<sup>2</sup>ブラックジャック』、『ジャングル大帝』、『リボンの騎士』、『火の鳥』

西 暦	年齢	生 涯
1928	0	大阪府に生まれる。本名は手塚治。当時の元号であった明治時代からとった。
1933	5	一家で兵庫県(現：宝塚市)へ転居。宝塚歌劇場をはじめとする様々な行楽施設が集まる地域であり、後の手塚作品に大きな影響を及ぼしたと言われる。
1946	18	知人の依頼を受けて『マアチャンの日記帳』という4コマ漫画を連載(彼のデビュー作品)
1950	22	『ジャングル大帝』の連載開始
1951	23	『 <sup>1</sup> 鉄腕アトム』の前身となる『アトム大使』の連載開始
1952	24	医師国家試験に合格するが、漫画家との両立が難しく医師の道を断念
〃	〃	東京へ移住し[ <sup>3</sup> トキワ荘]へ入居 ← 後に有名となる漫画家が多く暮らしていた
1962	34	『鉄腕アトム』が30分枠のアニメ作品として制作される → 日本初の30分枠アニメ
1973	45	『ブラック・ジャック』連載開始
1989	60	死去 昏睡状態になっても、起き上がっては「鉛筆をくれ」と言ったという。 最期の言葉は「頼むから、仕事をさせてくれ」だったそうだ。

## ★伝説のアパート 「トキワ荘」 とは…？

東京の豊島区にあるトキワ荘。木造・風呂無し・共同トイレの何の変哲もないアパートに、天才漫画家たちがくらしていた。しかも、奇跡的に同時期に集まったということが凄いところ。最初に入居した手塚治虫は「漫画の神様がすんでいたのでは」とこのアパートを振り返っている。どんな人が集まっていたのだろうか…？

入居者	入居時期	代表作
手塚治虫	1953-1954	『ブラック・ジャック』・『鉄腕アトム』・『ジャングル大帝』・『リボンの騎士』
藤子・F・不二雄	1954-1961	『 <sup>4</sup> ドラえもん 』・『 <sup>5</sup> オバケのQ太郎 』・『パーマン』・『キテレツ大百科』
藤子不二雄 A	〃	『忍者ハットリくん』・『怪物くん』・『笑ゥせえるすまん』・『プロゴルファー猿』
石ノ森章太郎	1956-1961	『 <sup>6</sup> サイボーグ 009 』・『 <sup>7</sup> 仮面ライダー 』
赤塚不二夫	1956-1961	『 <sup>8</sup> 天才バカボン 』・『おそ松くん』・『ひみつのアッコちゃん』

1982年に解体されたものの、「豊島区立トキワ荘マンガミュージアム」として生まれ変わり、漫画家の聖地となっている。

## 偉人の功績・思想

★『鉄腕アトム』の凄さ 21世紀の未来を舞台に、原子力をエネルギー源とする人の感情をもった少年ロボット「アトム」が活躍する物語。アメリカでは『ASTROBOY』として全米でも放映されており、日本での公開後半年という異例のスピードであった。日本でも初めての30分アニメ作品で話題となり、『鉄腕アトム』が成功したからこそ後のアニメ作品が生まれたと言っても過言ではない。歴代視聴率のランキングからも、そのすごさは一目瞭然。(参照：図1) この作品を皮切りに、日本のテレビアニメが海外で評価されるようになる。『ASTROBOY』を見て育った世代がアニメ会社に勤めるようになると、日本の作品輸出は益々拡大していった。90年代には『<sup>9</sup> ドラゴンボール 』や『<sup>10</sup> セーラームーン 』が流行し、海外における日本アニメ市場は急成長を遂げている。サブスクやネットの影響で、多言語配信が実施されており、国内と海外の売上が同等となるほどである。

図1 歴代アニメ視聴率ランキング(日本国内)

	作品名	放映年	視聴率
1	<b>鉄腕アトム</b>	1964	<b>40.3%</b>
2	<b>ちびまる子ちゃん</b>	1990	39.9%
3	<b>サザエさん</b>	1979	39.4%
4	Dr.スランプ アラレちゃん	1981	36.9%

図2 日本マンガ 海外売上TOP10

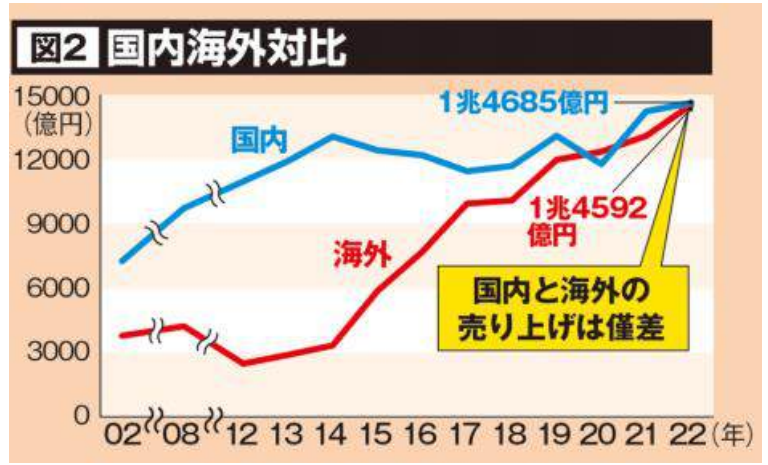
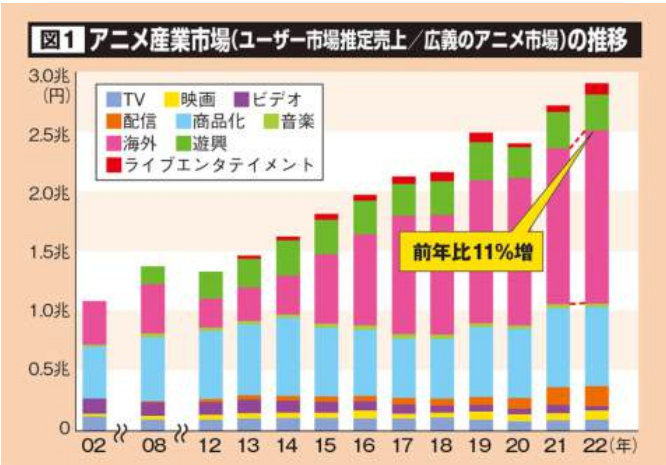
	作品名		作品名
1	<small>アニメ8位</small> <b>進撃の巨人</b>	6	<b>ワンパンマン</b>
2	<b>ベルセルク</b>	7	<b>僕のヒーローアカデミア</b>
3	<small>アニメ1位</small> <b>ONEPIECE</b>	8	<small>アニメ3位</small> <b>NARUTO</b>
4	<b>東京喰種</b>	9	俺だけレベルアップな件
5	<b>チェンソーマン</b>	10	<b>DEATHNOTE</b>

図3 日本アニメ 海外人気 ※外国人を対象としたアンケート調査より算出

	作品名	特徴
1	<b>ONEPIECE</b>	アジア圏を始め、ドイツ・フランスなどの欧州圏でも大人気。
2	<b>ドラゴンボール</b>	新作映画で全米デイリーランキング1位を獲得。
3	<b>NARUTO</b>	忍者大好きな外国人に刺さる。アニメ放送は80カ国以上。
4	<b>新世紀エヴァンゲリオン</b>	ストーリーの難解さに加え、主題歌や映像なども高評価。
5	<b>美少女戦士セーラームーン</b>	世界40カ国でアニメ放送。全世界の女の子が夢中になった作品。
6	<b>機動戦士ガンダム</b>	初代は40年前の作品でありながら、アジア圏で絶大な人気。
7	<b>ポケットモンスター</b>	アニメに加え、ゲームやトレカも人気。韓国・香港・台湾・米国でテレビシリーズ放送。

# ★世界に広がる日本アニメ ～クールジャパン構想～

今や日本は世界一のアニメ生産国となった。アメリカのアニメはヒーローが痛快に勝利するアクションものも多く、日本のような複雑なストーリー設定や緻密な描写が新鮮に映っているようだ。日本アニメ産業は世界で急成長しており、特に海外からの売上割合が増加傾向にある。(図1参照) 2020年以降は国内と海外の売上がほぼ同等になっている。(図2参照)



この状況を日本経済の発展に生かすべく、日本アニメや漫画の文化を全面的に売り出すことも考えられている。数年前から実施されている「クールジャパン構想」は、外国人が「COOL！」(カッコいい!)と捉える日本固有の魅力を、経済成長に繋げる戦略として掲げられ、アニメ・漫画やゲームの文化も一大コンテンツとして期待されている。

## Think 日本アニメはどんな国で展開されているか？

(問1) 日本アニメの国別海外展開状況をグラフにしたものである。空欄に入る上位国はどこか？



(問2) 日本に訪れる観光客はどんな国・地域からが多いでしょうか。(2023データ)

- |                          |                 |
|--------------------------|-----------------|
| 1位 [ <b>韓国</b> ] 696万人   | 6位 タイ 100万人     |
| 2位 [ <b>台湾</b> ] 420万人   | 7位 フィリピン 62万人   |
| 3位 [ <b>中国</b> ] 243万人   | 8位 オーストラリア 61万人 |
| 4位 [ <b>香港</b> ] 211万人   | 9位 シンガポール 59万人  |
| 5位 [ <b>アメリカ</b> ] 205万人 | 10位 ベトナム 57万人   |

アニメ・漫画業界の活躍が  
日本の観光・経済に  
影響を与えている！

## Watch 「鉄腕アトム」を実際に見てみよう

YouTube の手塚プロダクション公式チャンネルでは、1963 年の「鉄腕アトム」が一部閲覧できる。

(URL 参照 <https://www.youtube.com/watch?v=KGq6z1mEU9Q>)

当時のアニメ映像を実際に見て、気づくことや印象を書き出してみよう。

- 最低限の動き。同じ絵で背景や体の一部だけが動く構成。
- 動きがカクカク
- セリフが最小限で、動きや効果音で物語が進んでいる。



毎週 1 回 30 分の連続放映アニメは、国内はもちろん、世界初の試みだった。それまでの手法では、30 分のアニメを作るのは大変な作業だったので、毎週放映になるなんて信じられない世界だったそうだ。

制作期間が長くとれないため、通常 1 万 5000～2 万枚の絵を必要とするところ、10 分の 1 の 1500～2000 枚に変更し、目や口などのパーツを変化させるだけで表情を作ったり、背景だけを動かすことでキャラクターが移動しているように見せたりする手法も編み出した。この手法をリミテッドアニメという。

「ストーリーがしっかりしていて、そこにセリフと音楽が付けば、それほど動かなくてもいい。

それがテレビアニメだ。」というのが、彼の考えであった。東映動画のフルアニメーションに対し、極端に省力化された「鉄腕アトム」だったが、その後、同じ手法のテレビアニメが続々と制作され、現在でも日本アニメの手法の一つとして定着している。